JVC

ネットワークビデオレコーダー

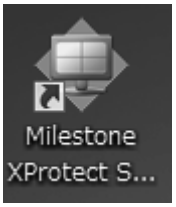
VR-X3200
VR-X1600

監視業務用

簡単ガイド

パソコンで操作します。

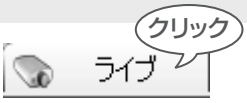
「簡単ガイド」では、閲覧ソフトウェアでの画像（ライブ画像、記録画像）の見かたと基本的な操作を説明しています。詳しい使いかたや設定については、「取扱説明書」をご覧ください。



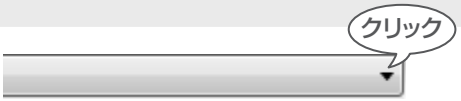
閲覧用ソフトウェアを表示するにはデスクトップのアイコンをダブルクリックします。
ログインのしかたがわからない場合や、デスクトップにアイコンがない場合は、システムの設定者または管理者にご確認ください。

ライブ画像を見る

ライブ画像を表示する



他のビューの画像を見る



カメラを選ぶ

バーの色が明るい青色に変わります。

カメラ画像の見かた

① **カメラの動作状態**
ライブ：記録していないとき
記録：記録しているとき

② **イベントインジケーター（黄）**
あらかじめ設定されたイベントが発生した場合、点灯します。

③ **モーションインジケーター（赤）**
モーションが検知された場合、点灯します。

④ **ライブインジケーター（緑）**
カメラからの画像を受け取るたびに、点滅します。

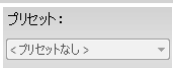
次の場合は、画像に変化があったことをお知らせします。該当するカメラの画像に注目してください。
- イベントインジケーター（②）が黄色に点灯する
- モーションインジケーター（③）が赤色に点灯する

また、イベントインジケーターまたはモーションインジケーターの点灯時に、警告音が鳴るように設定されていることがあります。

PTZ カメラを操作する

カメラを選んで…

登録された位置に移動させる（プリセット）



登録されたプリセット位置のリストから選びます。

カメラを水平／垂直方向に移動させる（パン・チルト）

移動させたい方向の矢印をクリックします。
- 中央の丸いボタンをクリックすると、「ホーム」として登録された位置に移動します。

ズームする

- デジタルズーム にチェックをすると、ズーム画像の右下に小さく全体画像が表示されます。

記録された画像をさがして見る

記録画像を表示する

クリック

再生

他のビューの記録画像を見る

クリック

表示されている画像の記録日時

日時でさがす

- 画面が表示されていないときは、画面左下の アイコンをクリックします。
- 他のさがしかたについては、「取扱説明書」をご覧ください。

1. 日時検索画面を表示させる
2. 日時を入力する
3. 移行 をクリックする
   入力した日時の画像が表示されます。

画像を再生する

次の操作ができます。

コマ送りする	/
選んでいるカメラで記録された最も古いまたは新しい画像に移動する	/
前または次の記録に移動する	/
日時を移動する	巻戻し 時間 早送り • 左右にドラッグします。
再生速度を調節する	再生 • 左右にドラッグします。
再生する	/
一時停止する	

- ライブ画像に戻るには、 ライブ をクリックします。

■記録画像を USB フラッシュメモリに保存する

指定した期間の記録画像を、監視用パソコン（または本機）から USB フラッシュメモリなどにコピーして、別のパソコンで見ることができます。

USB フラッシュメモリに保存する

あらかじめ、監視用パソコン（または本機）に USB フラッシュメモリを接続してください。

1. 保存したいカメラを表示させる

1-1. 再生 をクリックして、記録画像を表示する

1-2. 新規ビュー(4 x 4) （ビューリスト）をクリックして、保存したいカメラの画像を表示する

2. 「エクスポート」画面で保存する期間とカメラを選ぶ

- 画面が表示されていないときは、画面左下の アイコンをクリックします。

- 「開始時間」で 設定 をクリックすると、表示中の画像の日時から保存することができます。
- 「終了時間」で 設定 をクリックすると、表示中の画像の日時の 1 秒後まで保存することができます。
- データベース形式で保存する場合、「ソース」に「現在のビューソース」を選ぶと、表示中のすべてのカメラの画像が保存できます。

3. 保存形式と詳細を決める

3-1. 設定画面を表示させる

- データベース形式で保存する場合：
  DBのエクスポート... をクリックする
- 動画・静止画で保存する場合：
  AVI/JPEGのエクスポート... をクリックする

3-2. 保存内容の詳細を設定する

- 詳しくは、４ページをご覧ください。

4. 保存場所に USB フラッシュメモリが選択されていることを確認して、エクスポート をクリックする

保存が始まります。

- 「エクスポートされた画像」フォルダが自動で作成され、記録画像が保存されます。

保存した記録画像をパソコンで見る

- データベース形式で保存した記録画像を見るには、保存時に作成された「エクスポートされた画像」フォルダ内の専用ビューワーを使います。

1. 保存したデータ（「エクスポートされた画像」フォルダ）をパソコンのデスクトップなどにコピーする
2. 「エクスポートされた画像」フォルダを開いて、Viewer.exe をダブルクリックする
   ビューワーが起動します。

3. 日付選択の [▼] をクリックして、カレンダーから指定の日付を選択する
   指定した日にちの画像が表示されます。
4. 時刻選択の [▼] をクリックして、時刻を指定する
   指定した時刻の画像が表示されます。
5. 再生する

記録画像保存時の詳細設定

データベース形式で保存する場合：

ソース	入力音声を含める	保存したい対象にチェックをします。
	出力音声を含める	
セキュリティ	エクスポートしたデータベースを圧縮	保存時にデータを圧縮する場合にチェックを入れます。
	エクスポートしたデータベースを暗号化	保存した記録画像の閲覧にパスワードを設定するときにチェックをして、パスワードを入力します。
エクスポート先	デスクトップ / パス	保存する場所を選びます。 • 他のパソコンで見る場合は、「パス」を選択して、USB フラッシュメモリへのパスを指定してください。
	ビューアプログラムファイルを含む	保存した記録画像を見るための専用ソフトウェアを、保存データに含めるときはチェックをします。

動画・静止画で保存する場合：

ソース	画像を含める	保存したい対象にチェックをします。
	入力音声を含める※	
	出力音声を含める※	
エクスポートタイプ	エクスポートするフォーマット	動画で保存するときは「AVI」を、静止画で保存するときは「JPEG」を選びます
	時刻を表示	保存した画像で時刻情報を表示するときは「はい」を選びます。
	フレームレート※	通常は「フル」（初期設定）を選びます。「ハーフ」を選ぶと、フレームレートが半分になり、ファイルサイズが小さくなります。
	デジタルズームエクスポート	保存する画像にデジタルズームを含めるときは「はい」を選びます。
	AVI コーデック※	通常は「Microsoft Video 1」を選びます。
エクスポート先	デスクトップ / パス	保存する場所を選びます。 • 他のパソコンで見る場合は、「パス」を選択して、USB フラッシュメモリへのパスを指定してください。
	AVI ファイル名※	入力しない場合は、記録開始の年月と日時で名前がつけられます。 例：2011 年 7 月 15 日 午後 12：45：37 からの画像のファイル名は「20110715-124537.avi」になります。

※動画（AVI）を選んだ場合のみ

●用語について

イベント

監視システム構築時に設定してある「出来事」。
他の警報機器やカメラなどから受け取った「異常」をきっかけに、サイレンを鳴らす・記録を開始するなどの動作が設定されていることがあります。

モーション検知

カメラが撮影範囲の人や物の動きを検知する機能。
動きを検知すると、サイレンを鳴らす・記録を開始するなどの動作が設定されていることがあります。

© 2011 JVC KENWOOD Corporation